

事務事業名		観光地域づくり人材配置事業		所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	チャレンジ創生G	課長名	熱田 勇二
	施策名	(05)時代に合った行政サービスの実現		担当者名	松蔭佳子	電話番号	40-1011 (内線) 2332
	目的:対象	行政機能	意図	公平で効率的なサービスを提供する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 企画総務管理事業	
	基本事業名	(014)民間活力の導入と広域行政の推進		0 1 1 0 0 1		大事業名	
目的:対象	行政機能	意図	民間活力や行政の広域化によってサービスを向上する。	0 5 3 5 2 4	中事業名	観光地域づくり人材配置事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (28年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
地域おこし協力隊を配置し、雲南市と雲南地域の観光事業の企画・情報発信を行う事業。 (1) SNS、HP等の観光情報サイトを活用した情報発信や同サイトの管理運営 (2) 観光情報発信イベント等の企画運営 (3) 地域資源の発掘	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動						
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 1. フェイスブック、インスタグラムなどのSNSを活用した情報発信 2. 市外の主に女性をターゲットとした観光情報発信イベントの企画運営		29年度計画(29年度に計画する主な活動) 引き続き、積極的に情報発信するとともに、関係団体と連携し、活動の幅を広げる。				
	② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	ア	観光情報発信回数	回	-	-	280	500
	イ						
	ウ						
	エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	観光客		ア	日本の人口	千人	-	-	126,193	126,193
			イ						
			ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
雲南市と雲南地域の魅力をPRする		ア	雲南1市2町の観光入込客数	万人	-	-	270.1	268.0	
		イ	観光情報発信回数	回	-	-	280	500	
		ウ							

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
・報酬 1,920千円(協力隊員報酬)		事業費	財源内訳	国庫支出金	千円			
・旅費 448千円(協力隊員旅費)			県支出金	千円				
・需用費 35千円(燃料費等)			地方債	千円				
・役務費 101千円(タブレット通信費等)			その他	千円				
・使用料 170千円(公用車リース料)			一般財源	千円			2,674	3,152
計 2,674千円		事業費計(A)		千円			2,674	3,152
		人件費	正規職員従事人数	人			1	
			延べ業務時間	時間			160	
		人件費計(B)		千円			635	
		トータルコスト(A)+(B)		千円			3,309	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
高速道の開通や県内の観光イベント等により雲南地域への観光客も増加しており、観光・交流人口の更なる拡大に向け、SNS等を活用した観光情報発信や観光イベント等の充実を図る必要が生じている。	毎月定例で協力隊員との面談を行い、業務の進捗状況の確認や任期終了後に向けた情報交換を行い、改善に努めている。	観光協会等の関係団体より、連携して更に情報発信等を強化したい要望がある。

事務事業名	観光地域づくり人材配置事業	所属部	政策企画部	所属課	政策推進課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	観光協会等の関係団体と連携し、観光情報等の更なる強化と観光入込客の拡大を図ることが期待できる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	広域で連携して取り組む観光事業(おくたび等)があり、廃止の影響は大きい。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	他に類似事業はない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	活動に必要な経費であり、削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	人件費は嘱託職員の基準額であり、削減余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	雲南市を中心に雲南地域全体の観光強化の取組であるため公平公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
観光協会等の関係団体と連携して、観光情報の更なる発信強化や観光資源の充実を図って行く。			観光協会等の関係団体と連携することにより、観光情報の更なる発信強化等を図り、観光入込客の拡大を図ることが必要である。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
観光協会等の関係団体と連携して、観光情報の更なる発信強化や観光資源の充実を図って行く。	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		